









2016 タカスミニバイク 8時間耐久レース 走行規則

1 コース走行時の遵守事項

1) ライダーは、ポストなどで表示される次のフラッグ、シグナルに習熟し従わなければならない。[C]

フラッグ・シグナル		フラッグ・シグナルの意味
	黄旗 (シグナルは黄色の点滅)	コース上や周辺にある危険や故障車両を知らせる合図。 振動表示される監視ポスト、もしくはシグナルから徐行区間とし、次の緑旗が振られる監視ポストもしくは無灯火のシグナルまでの区間が追い越し禁止となる。 静止表示は注意喚起の合図で、追い越し禁止とはならない。
	赤旗 [D] (シグナルは赤色の点滅)	走行の中断(中止)の合図。 必要に応じ直ちに停車できる態勢をとり、追い越し・追い抜きは禁止で最徐行とする。 詳細は「赤旗中断と再スタート」を参照。
	緑旗 (シグナルは無点灯)	オールクリアの合図。 コースの安全を知らせる意味で、手前の監視ポスト、もしくはコーションランプで出されていたフラッグやシグナルが解除となる。 ※ フォーメーションならびに走行再開時のスタート合図。

フラッグ		フラッグの意味
	日章旗	スタート(走行開始)の合図。
	オレンジボール	走行車両に技術的欠陥ありを知らせる合図。 車両番号(ゼッケンNo)と併せて表示されたライダー安全な場所に速やかに車両を停車しなければならない。
	オイルフラッグ	コース上がオイル、砂、急な雨などにより、滑りやすくなったことを知らせる合図。 追い越し禁止などの規定はなく、告知用のフラッグ。 ※ 注意箇所に関わらず、全車両が1~2周を終了する間のみ提示する。
	黒旗	規則違反、および危険な車両に対し車両番号(ゼッケンNo)と併せて表示される。 提示された車両は後直ちにピットインをしなければならない。 その違反内容によって罰則が与えられる。
	チェッカーフラッグ	ゴール(走行終了)の合図。 速やかにベースダウンし、次の周回でピットインすること。 ダブルチェッカーはペナルティとなる。[C]

出走するライダーは、唐突な進路変更や幅寄せ等、故意による他の車両の進路を妨害するような行為、また、明らかに重大事故の発生が予測できる「危険な行為」を行ってはならず、事故無く安全に走行をしなければならない。[F・G]

- ※「危険な行為」とは、① 衝突を起こしたもの
② 他のライダーのコースアウトを強いるもの
③ 他のライダーによる正当な追い越し行為を故意に妨害するもの etc...

- 3) 各ライダーは、タカスサーキットの規則に準じたヘルメット、グローブ、レーシングスーツ、ブーツを確実に着用し走行すること。[F]
4) コース走行は左回り(反時計回り)とし、いかなる場合も逆方向に走行してはならない。[F]
5) コース外の走行は、危険状態を避ける場合を除いて行ってはならない。[B]

2 スタートイングリッド

スタートイングリッドは、以下の順に決定される。

- 原則としてクラス区分・エキスパートクラスを前列、エンジョイクラスを後列とし、**受付時に抽選を以って決定する。**
(前列3台は7月17日に行われる HBF 夏大会 4時間耐久ノーマルクラス決勝上位3台をシード位置とする)
- スタート3分前にスタート位置に付けないチームはピットスタートとなる。
- コース上のグリッドにつけない車両のグリッドは、そのまま空きグリッドとし、詰めない事とする。

3 スタート

スタートはル・マン式スタートとする。スタート手順は次の通りとする。

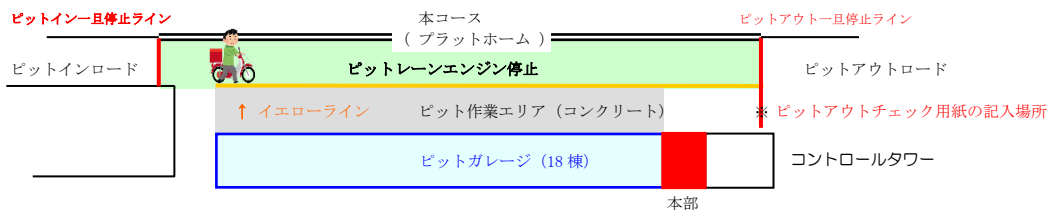
- フラッグタワー、もしくはコース上で掲示される計時ボードは次の通りとする。
15分前 : スタート15分前。グリッド整列開始、手押しでピットロード出口より逆走し、スタート位置まで車両を並べる
3分前 : 全車エンジン停止とし、グリッドへの進入は締め切られる。
ピットスタート車両もピットレーン出口手前に待機し同様とする。
1分前 : エンジン始動、ライダー車両を支えるピットクルー以外はコース上から退去する。
30秒前 : エンジンを始動した状態で、ライダーはスタート位置に移動
スタート : 日章旗が振り下ろされ、ライダーはバイクに駆け寄りスタート

なお、進捗状況により、規定時間前に提示される場合もある。
エンジンウォーミングアップを目的としたエンジン始動のみ、スタート20分よりOKとする。

- 決勝スタート3分前までにコース上のダミーグリッドにつかなければならない。
- スタート3分前までにダミーグリッドにつけなかった車両はピットスタートとなる。
掲げられた日章旗(緑旗)が振られることで走行スタートとなる。
正常なスタートができなかった車両は手押しにてピットレーン出口よりピットに進入できる。

4 ピットレーン・ピットロード

- 1) ライダーは、プラットフォームとピットガレージの間のピットレーンをピットクルーが行き来することを承知し、ピットラインで一旦停止、それより先は**エンジンを停止し手押しの状態のみでプラットフォームを通行できるものとする**。[A]
- 2) ピットエリア（コンクリート舗装区域）には、指定されたピットガレージにできるだけ近い位置より進入し、停車する。
- 3) プラットホーム（サインエリア）への入場は、ピットクルーのみに限定される。



5 ピットイン

- 1) ピットインの際には、**ピットインライン進入前に後方にピットインを行う意思を後方に提示し十分に減速しなければならない**。[A]
- 2) 赤旗中断の場合、ピットは閉鎖されピットインのみゆるされる。

6 ライダーの交代

- 1) 決勝走行中、ライダー交代を**8時間で12回以上**行わなければならない。[D]
(赤旗中断により決勝時間が短縮された場合はその限りではない。)
目安として短縮トータル時間が43分短縮で1回の義務ピットイン減らします。
- 2) 決勝中、1名のライダーの**連続走行時間は40分以内**とする。[B]
(**ピットアウトチェック用紙の記入時間で43分** 40分+給油、ライダー交代分=3分とします。)
- 3) ライダー交代の判断は各チームに委ねられるが、ライダー交代をしないピットインの場合（ピットイン前に運転していたライダーが引き続き走行する場合は交代とみなされない。）は同一ライダーの連続走行時間として算出される。
なお、メンテナンス作業等の作業時間が長時間におよぶ場合の停車時間は考慮されるが、その時間は主催者側の判断とする。
- 4) ライダー交代は必ずピットエリア、もしくはピットガレージ内で行わなければならない。
- 5) 給油を伴うピットインの場合、必ずライダー交代をしなければならない。

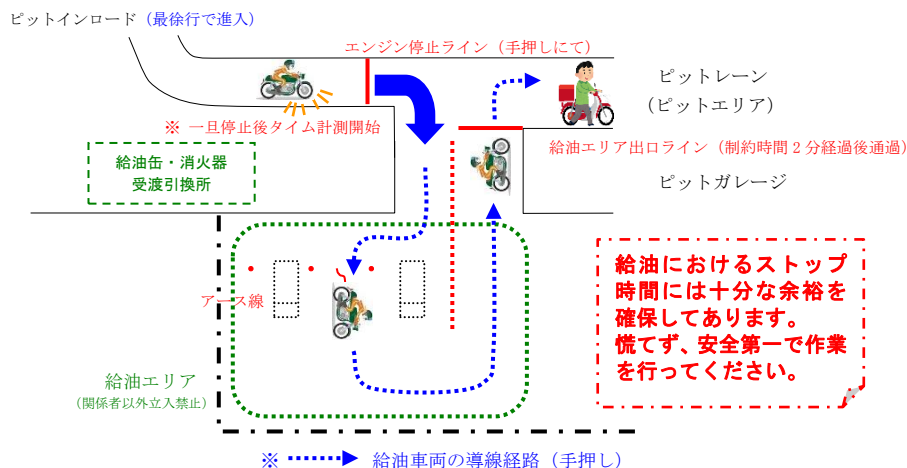
7 メンテナンス作業

- 1) メンテナンス作業（車両不備の点検、整備、修理、調整、部品の交換等）は、全てピット作業エリア、ピットガレージ内で行い、いかなる場合でもコース上、ならびにピットロード、ピットインロード、ピットアウトロード、ピットレーンで行ってはならない。[D]
- 2) メンテナンス作業にあたる者は作業に適した衣服（長袖・長ズボン）を着用しなければならない。[E]
- 3) メンテナンス作業を行う場合、エンジンは必ず停止しライダーは降車すること。ただし、車体の点検作業を必要とする場合はこの限りでない。

8 燃料の補給

- 1) 走行会当日、ピットガレージ内を含み給油エリア以外での給油は一切認められない。[E]
- 2) 火災予防のため、持ち込んだガソリン携行缶はピットガレージ外で給油エリアに預けなければならない。
- 4) 決勝走行中、**1回の補給量は最大5Lまでに制限する**。（給油の携行缶はこちらで用意します）
- 6) 決勝走行中、給油エリア入口通過から出口通過まで、**2分間**（制約時間）とどまらなければならない。
なお、給油作業に多くの車両が集中した場合、停車時間が設定された制約時間より長くなることも想定されるが、この給油に関する内容についての抗議は受け付けない。
- 7) 給油エリア内では、燃料補給以外一切の作業は禁止される。
- 8) 燃料補給については、以下の手順通り最低2名以上で行わなければならない。[E]
 - 1 給油作業のためにピットインする旨をチーム員が給油オフィシャルに申し出、給油缶と消火器を受け取る。
 - 2 オフィシャルの指示に従い、指定された給油場所に手押しで移動する。
 - 3 アース線をマフラーにクリップし、消火器のノズルを給油口に向けて万が一の消火態勢をとり給油をする。
 - 4 給油する者、および消火態勢をとる者は、火災に備え必ず、長袖・長ズボンを装着しなければならない。[E]
 - 5 給油完了後、給油缶と消火器を受渡引取所に返却する。
 - 6 給油を終えたら、制約時間が経過するまでの間オフィシャルの指示により指定された待機場所にて停車待機すること。

【給油手順】



9 ピットアウト（コースイン）

- 1) ピットアウトの際、オフィシャルの指示により定められた場所で**ピットアウトチェック用紙に現在時刻を書き入れるために一旦停止**すること
- 2) 本コースへの進入は、ライダーは各自の責任において判断をすること。
- 3) コースインの際、ピットロード出口から第2コーナーを通過するまでは、本コースの右側ラインに沿って走行しなくてはならない。
また、第2コーナー通過後レコードラインへの合流に際しては、他車両の進路を妨害することなく十分な速度まで加速しなければならない。
- 4) ホワイトライン（ピットロード出口から2コーナーにかけて引かれているライン。）の運用は次の通りとする。
ピットアウト車両は、ホワイトラインの左端より右側（ライン上を含む。）を走行しなければならない、車両のいかなる部分もラインの進行方向の左端を越えてはならない。
- 5) いかなる場合でもチェッカー後のピットアウトは認められない。

10 赤旗中断と再スタート

- 1) 重大な事故等によりコース上が危険な状態である場合、または天候、その他の理由により走行の継続が不可能となったため走行会を中断する必要がある場合は、フラッグタワー、ならびに全監視ポストにおいて赤旗が表示され、全てのシグナルは赤色点滅となる。
- 2) 走行中断の合図と同時に**全ての走行車両は追い越し追い抜きが禁止**となり、直ちに停車できるスピードで走行した後、オフィシャルの指示に従って**ピットイン**しなければならない（その場合もピットロードは手押しになります）
- 3) 走行が中断された場合、以下の条件によって走行を再開することができる。
 - A) 先頭車両が2周目を完走していなかった場合
 - ② 再スタートが可能な場合、最初のスタートは無効とみなされスタートのやり直しとする。
この場合、規定時間を短縮する場合がある。
 - B) 先頭車両の周回が2周以上で規定周回（時間）の70%未満（小数点以下は切上げ）の場合
 - ① ライダーはピットに戻りエンジンを停止すること。
 - ② 走行会の継続が可能な場合、赤旗表示の周回は無効とみなされる。
再スタートは先頭を走行していた車両（先頭車両がピット中の場合は、第2位を走行中の車両。）を先頭に、中断された周回の直前の周回が終了時点の走行順位に車両は整列しピットロード出口にて2秒毎に出走させられる。
規定された走行時間は、中断された周回の周回終了時点で停止され、再スタート後再計測される。
なお、8時間の走行時間は赤旗中断中も継続される。
 - C) 先頭車両の周回が規定周回（時間）の70%（小数点以下は切り上げ）を経過している場合
 - ① 走行終了となり、ピットに戻ることにする。
 - ② 赤旗表示の周回は無効とされ、先頭車両が赤旗表示の周回（中断された周回）の前の周回にコントロールライン（フィニッシュライン）を通過したときに終了したものとみなす。
- 5) 赤旗中断の時にピットにいる車両は、ライダー交代を含むピット作業を継続して行うことは認められるが、ピットアウトは認められない。
- 6) **赤旗中断時に給油エリアに進入、または待機している車両は、赤旗が表示されてから走行再開（再スタート）までの時間、給油エリアもしくは待機場所から移動することはできない。（赤旗中断時には給油エリアに進入することが出来ない）**
走行が再開（再スタート）された後、ピットレーンに移動できる。
- 7) 赤旗中断時は、ピットレーン作業エリアに進入した場合、再スタートは最後尾からとなる。

11 走行の終了と順位の認定

- 1) 走行は、実施要項の規定周回数を最も早く満たした車両、または規定時間が経過した時点で最も周回数の多い車両の先頭車両に対し、コントロールライン通過後にチェッカー旗が振られ終了となる。
なお、チェッカー旗は2分間提示され、その間にチェッカーを受けなければならない。
- 2) チェッカー旗が何らかの理由により規定周回数（時間）が経過する前に表示された場合は、走行はその時点で終了したものとみなされる。
- 3) チェッカー旗が何らかの理由により遅れて表示された場合は、実施要項の規定周回（時間）が経過した時点における順位に従って決定される。
- 4) チェッカー旗を受けた車両は最徐行とし、次の周回でピットインしなければならない。〔C〕
なお、各クラス上位入賞車両は、オフィシャルの指示でピットイン後車両保管エリアに直ちに誘導される。
- 5) 完走順位は、コントロールライン上でチェッカー旗を受けた車両に対して優先的に与えられる。
順位は、チェッカー旗が振られた時点で周回数の多い車両から認定され、同一周回数の場合は、コントロールライン通過順位によるものとする。
なお、ピットにいる車両はチェッカー旗を受けたものとみなされ、完走順位の認定を受ける。
- 6) チェッカー旗を受けることができなかった車両で、優勝車両の走行周回数の70%（端数切り上げ。）以上を走行した車両は完走扱いとなり、チェッカー旗を受けた車両の後に順位付けされる。
- 7) 先頭車両が実施要項の規定周回数（時間）の70%以上（小数点以下は切上げ。）を経過した後に赤旗中断となった場合、先頭車両が赤旗表示の周回の前の周回にコントロールライン（フィニッシュライン）を通過した時点で終了したものとみなし最終順位を認定する。
この時、ピットならびに給油エリアに停車している車両は、インラップ前の周回で終了したとみなす。

12 リタイア（棄権）

事故、あるいは故障等により以後の走行を放棄するチームは、トランスポンダーを返還することでリタイアの意思を届け出たこととなるが、事務局の許可無く走行車両の会場からの搬出はできない。

13 主催者ならびに運営者の権限

- 1) 参加申し込みの受け付けに際して、何らその理由を示すことなくライダー、ピットクルーを選択、あるいは拒否することができる。
この場合、参加を拒否された申込者に対しては、参加料が返還される。
なお、参加を受理された後（受理証発送後）、参加者が参加を取り消した場合、参加料は返還されない。
- 2) 参加受理、車両番号の受付、ピットの割り当て等にあたり、各参加者の優先順位を決定することができる。
- 3) 保安上、または不可抗力による特別な事情が生じた場合、走行会の延期、中止、取り止め、および走行時間の短縮を決定することができる。
なお、走行会が延期されたが、延期された日程での参加が不可能な場合、中止や取り止めの場合、参加料は、事務経費（2,000円）を差し引き返還される。
- 4) 各クラスの参加申し込み数が5台に満たない場合は、該当クラスを取り止めることができる。
- 5) スポンサー広告を参加車両に貼付させることができる。
- 6) ライダー、ピットクルーを含む全ての参加者の肖像権、および車両等の音声、写真、映像等の報道、放送、放映、出版に関する権限を有し、この権限を第三者が使用することを許可できる。
- 7) 賞典の取り扱いについて最終的な決定権を有する。
- 8) その他、本走行に関する疑義についての最終的な決定権を有する。

14 抗議および罰則（ペナルティ）の適用

- 1) 本走行会において、参加者からの走行中を含む走行全般についての抗議は受け付けない。
なお、本走行会の運営に有効な提案や要望は随時受け付ける。
- 2) 本走行会で、主催者が違反者（チーム）に課することができる罰則は次の通りとする。

A：走行結果から1周減算（1行為毎に減算される。）

- ：ホワイトラインのカット
- ：ピットレーン・ピットロードでの違反（エンジン始動走行など）

B：走行結果から1周減算（1行為毎に減算）される。）

- 走行規則違反：スタート時フライング（再スタートを含む。）の追い越し追い抜き違反

C：走行結果から1周減算（1行為毎に減算される。）

- 走行規則違反：フラッグ違反（赤旗違反の場合は2周減算とする）
：ダブルチェッカー
：その他の走行規則違反

D：走行結果から2周減算（1行為毎に減算される。）

- 参加者の遵守事項違反行為、およびサーキットの諸規則違反行為
- 走行規則違反：フラッグ違反（赤旗）
：ピットイン回数の規定回数不足（不足回数1回につき1周減算）

E：走行結果から5周減算（1行為毎に減算される。）

- 走行規則違反：オフィシャル、ピットインスペクターの指示違反行為
：給油時の消火態勢違反行為
：安全作業違反

F：走行結果から10周減算（1行為毎に減算される。）

- 走行規則違反
：故意の有無に関わらず、赤旗の原因となる事故を起こした当該車両

G：失格・出場停止、および全シリーズポイント剥奪

- 故意で悪質な車両規則違反、および車両検査拒否行為
- 故意で悪質な走行規則違反、および重大なマナー違反と危険な行為
- 走行会の開催中、ライダーとして登録されている者以外のライダーによる走行行為

なお、主催者は状況に応じて上記の罰則を軽減あるいは強化することができる。

15 変更

本規則は、予告無くその一部を変更する場合がある。
なお、変更した場合には事前に参加者に対し文書もしくは口頭にて通知する。

16 その他の注意事項

1) 入場に関して

走行車両以外でBパドックに入場駐車できるトランスポーター車両は、1チームにつき2台までとします。
Aパドックへの走行車両、およびサポート車両の入場はオフィシャルの指示に従ってください。

2) 出走受付

出走受付時には受理証を確認し（受理証がないと出走できない場合があります。）、車番認識タイム計測器（トランスポンダー）を配布します。

3) ライダー変更・追加

止むを得ずライダーの変更・追加が必要な場合は、当日の出走受付時に新規登録するライダー本人が提出済みの参加申込書に署名押印することにより認められます。
なお、当日の出走受付時間終了後のライダーの変更や追加はできません。

4) 練習走行

① 前日練習走行への参加はエントリーライダーのみとしますが、ヘルメット、グローブ、レーシングスーツ、レーシングブーツ等、規定に合った装備を確実に着用してください。

② 計測の感度等の不具合を確認し、タイム計測器の取り付け位置を変更させていただく場合があります。

5) 走行中のピット作業

① 走行中は受付時に指定されたピットを使用してください。

ピットガレージ数とエントリー台数の関係上、ピットの共有をお願いすることがあります。

なお、占有場所や利用方法、作業工具や貴重品等の管理に関しては、サーキット、ならびに主催者は一切関知いたしませんので、トラブル等の無いようお互いが協力して利用してください。

ピットレーンはエンジンをかけての走行はできませんが、ピット作業エリアではエンジンをかけて調整する事が出来ます。

6) その他

② 会場内は火気厳禁です。喫煙は指定場所をお願いします。

③ 施設内にはゴミ箱がありませんので、ゴミはすべて各自お持ち帰りください。

ピットガレージ内の100V電源の利用は、車両メンテナンス関係のみ使用を認めます。

電気ポット、扇風機、ストーブなど家電用品で100V電源を使用されますと容量オーバーとなり、最悪の場合、タイム計測システムが遮断され、走行会の運営に支障が生じます。発電機等を持ち込みして利用してください。

なお、ラップモニターTVを使用される場合の100V電源の使用は認めます。

ピットのすぐ裏にテントを設営するのは認めるが、おもり等を使ってしっかり固定すること。